



2020年7月号 177号



# しゃきょう 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



## 熱中症に気をつけよう！

いつでもどこでもだれでも条件次第で熱中症にかかる危険があります！

- ①水分をこまめにとる！（のどが渴いてなくても水分をとる）
- ②塩分をほどよくとる！（適度に塩分を取りすぎずにほどよく）
- ③睡眠環境を快適に保つ！（しっかり睡眠をとる）
- ④食事をしっかりとる！（食欲がなくてもまず食べる）



暑さをやわらげましょう！

- ①室内を涼しく！（エアコンを使って室内は冬に！）
- ②お洋服も工夫をして！（通気性のいい服や吸収性のいい服を！）
- ③日差しをよけて！（美白を目指してできるだけ太陽にあたらさない！）

この状況になったらすぐに連絡を！

- ①めまいや顔のほてりを感じる
- ②筋肉痛や筋肉のけいれんがおこる
- ③体のだるさや吐き気を感じる



中央診療所 2-0016      めぐりケアセンター 090-2655-1529

包括支援センター 5-1832      三宅島社協 8-5888

# ちけん通信

## Vol.15 自分の財産を守る方法がありますか？

Q.

知らないうちに預貯金が引き出されて、年金が使われています。このままでは土地などの自分の財産もどうなるか不安です。自分の財産を守る方法がありますか？

そうだ！

社協の地権に

相談して

みよう！

地権担当のヤナガワです。ご相談ありがとうございます！大切にしている自分の財産が知らないうちに減っているというのは大変怖いことかと思えます。「ちけん」では金融機関への問合せの同席など確認の手伝いも行っています！また、生活や財産にかかわるご相談や通帳や権利書といった書類管理などを対応している「ちけん」の他に、預貯金や家や土地などの固定資産、証券など大切な財産を弁護士や司法書士、親族などの第三者に、より頑丈に守ってもらう事ができる「成年後見制度」の活用についても相談を承っております！ささいな心配ごとの相談が大きな困りごとの解決に繋がります。まずはお気軽にご相談ください！



「地権（ちけん）」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当：柳川（やながわ）【直通 8-5883】まで！

## 夏の体験ボランティア 2020 中止のお知らせ

令和2年7/31、8/7、8/21、8/28に予定しておりました「夏の体験ボランティア2020」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とさせていただきます。今年度は例年とは違った新しい「夏の体験ボランティア」を準備していましたが大変残念ですが、中止を決定させていただきます。来年度の「夏の体験ボランティア2021」では多くの島民の皆さんのご参加をお待ちしております。また、今年度開催予定だった三宅中学校での「ボランティア・デイ」についても中止とさせていただきます。来年度は是非、皆さんと一緒にボランティアについて考えていけたらと思います。

## 寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

井上 優子さまより 亡夫 直さまの香料より 組織運営事業のために

前田 栄さまより 亡母 前沢ハマ江さまの香料より 訪問介護事業のために

福祉振興のため、大切に使用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございます。

# 障がい福祉 いぶぎだより



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶぎ」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

## 7月のいぶぎ活動

緑化活動 1・8・15・22・29日(全水曜日)

外出支援 13日(月)

◆新型コロナウイルス感染対策の為、マスクをしたり、お互いの距離をとったり、今までとは少し違う環境ですが、いつも通りマイペースに笑顔で日々仕事に取り組んでいます。



◆緑化活動:プランターや花壇ではポチュラカ、ナスタチューム、マリーゴールドのお花が咲き始めました。「明日はどんなお花が咲くのかな」とみんな心待ちにしながら、毎日水やりしています。いぶぎの畑にミニトマト、ナス、キュウリを植えました。美味しい野菜が収穫できるように試行錯誤しながら、みんなで草取りや水やりを頑張っています。

## 手作り布マスクの寄付について

5月19日に飯倉則子さんより手作りの布マスク2枚1組として30組の寄付がありました。マスク不足の中、ご寄付いただき感謝しております。

ご寄付頂いた布マスクは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活用させていただきます。

本当にありがとうございました!



社協だより7月号につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小版とさせていただきます。マイストーリーの取材に関しても「三密」となるため、現在行っておりません。新型コロナウイルス感染症が収束し、通常通りの社協だよりで皆さんにお会いできる日を楽しみにお待ちしております。

# 懐かしのマイ・ストーリー

もう一度、あなただけの物語、聞かせてください。

寺澤峰さん

の物語

今月号のマイストーリーは以前社協だよりに掲載させていただいたバックナンバーのマイストーリーを掲載させていただきます。当時の社協だよりはまだカラーではなかったので当時の素敵な写真もあわせてご覧ください。



現在の寺澤さん

## 多くの人に話し伝えることは

### 私にとっては生きること

昭和4年3人兄弟の末っ子として三宅島坪田で生まれた寺澤峰さん88歳（平成29年当時）。小さい頃は体が弱く、母親が自分の事をとても心配してくれたという。病院に通うために学校を抜ける事がたくさんあった。自宅から都道まで道が長かったが、その道を父が大八車を背負っていた姿を今でも思い出す事があるという。三宅島の学校を出てからは戦争のために三池や高校脇の防空壕掘りを一心不乱にした。「防空壕を掘ったおかげで体力はついたね。」と峰さんは笑って話してくれた。父親は「日本は敗戦するだろうし、東京からは食べ物なくなるから、畑のある家に嫁ぎなさい。」と峰さんに言った。22歳の時に峰さんを一番心配していた母が亡くなった。とても悲しかった。母ともっと一緒にいたかった。母を亡くした翌年に峰さんは運命の相手と出会う事となる。3年前に他界された夫の良雄さんだ。良雄さんと出会えたのも母のおかげだと思った。ある日「自分が心に決めたのは君だよ。」と言われ、私はこの人と一緒に生きていくんだなと直感した。体が弱かったので妊娠に不安はあったが、可愛い女の子を授かった。出産したのが自分の誕生日の前日で、この子は母の生まれ変わりだと、そんな風に思えた。その後も長男、次男と出産することができた。あれだけ自分を心配してくれていた母が守ってくれたんだと思った。3年前に夫の良雄さんは他界したが、良雄さんが息を引き取るその瞬間まで一緒に会話していたという。「夫は穏やかでとっても良い人よ。亡くなる瞬間まで一緒にいさせてくれたね。でも、今が青春なのに亡くなっちゃってね。もっと一緒に時間を過ごしたかったね。寂しいよ。」と良雄さんの事を語ってくれる峰さんはまさに「恋する乙女」だ。今の峰さんの夢は「面倒見ていたお姑さんが92歳まで生きたので、92歳までは絶対に生きてお姑さんと同じ景色を見る事！」と笑顔で話してくれた。もうひとつの夢は娘さんからプレゼントされた「自分の本」を作る事だそうだ。その本にありったけの峰さんを詰め込んでほしい。急な取材にもかかわらず、本当に快く取材を受けてくださりありがとうございました。とても感謝しています。普段から峰さんは優しく笑顔で私たちにも丁寧に接して下さる方です。峰さんのお話を聞かせて頂いて、穏やかでいられる秘訣を知る事ができたような気がしています。峰さん、これからも多くの人に峰さんのストーリー語ってあげてください。心にすっと染み込むストーリーと楽しい取材の時間、本当にありがとうございました！（取材日：平成29年10月27日）

ここまでが当時掲載させていただいたマイストーリーです。現在の峰さんはお写真でもわかるように、とても元気に過ごされています。取材当時92歳まで生きてみたい！とお話してくれましたが、今年で91歳！92歳と言わず目指すは100歳！当時と変わりなく、いつでも優しく丁寧に私たちを迎えてくれます。峰さんから始まったマイストーリー、昨日の事のように取材の日を思い出します。今、読み返すと下手な文章で峰さんに申し訳なかったと思いますが、マイストーリーは峰さんから始まりました。峰さん、マイストーリーをありがとう。これからも元気で一緒に色々なことを楽しもうね。



平成29年当時の寺澤さん